

地獄は、  
この頭の中にある。

# 虐殺器官

GENOCIDAL ORGAN

CAST

中村悠一 / 三上 智 / 石川界人 / 梶 裕貴 / 小林沙苗 / 大塚明夫 / 櫻井孝宏

STAFF

原作:「虐殺器官」伊藤計劃(ハヤカワ文庫JA) / 監督・脚本:村瀬修功 / キャラクター原案:redjuice / デザインワークス:山根公利、白井伸三、神宮司訓之、山田正樹 / 美術監督:田村せいき / 色彩設計:茂木孝浩  
撮影監督:山田和弘、中西康祐 / CGディレクター:増尾隆幸 / アフレコ演出:長崎行男 / 編集:長坂智樹 / 音楽:池 頼広

主題歌:「ワロデッド」EGOIST(ユニバーサルミュージック)

アニメーション制作:ジェノスタジオ / 制作:Project Itoh / 配給:東宝映像事業部

2017.2.3 (Fri) ロードショー

# 夭折の作家、伊藤計劃——。

## 僕たちは、彼が計画した世界を生きる。

### introduction

2007年に刊行された「虐殺器官」は“ゼロ年代最高のフィクション”と称えられ、SF、アクション、ミステリ、といったジャンルで分けずすることはもはや無用だった。文庫版の帯には小島秀夫、宮部みゆき、伊坂幸太郎からの絶賛のコメントが大きく掲出された。

原作は「一人称で戦争を描く。主人公は成熟していない、成熟が不可能なテクノロジーがあるからである」というコンセプトで書き進められた。

「虐殺器官」の特徴であるリアルで鮮烈な戦闘シーンと、内省的で繊細な心理描写—この両面を描くことが出来る映像作家は限られている。監督・村瀬修功はその中でも間違いなくトップの一人だ。

2015年秋に起こったスタジオmanglobeの倒産により、一時は制作中止の危機に陥ったが、新たに設立されたジェノスタジオにより再始動。

「予測のできない事態だったが伊藤計劃さんが再びチャンスをくれたのかもしれない」村瀬を中心に新たに始動した「虐殺器官」。その映像作品としての純度は必ずや、我々の期待を凌駕するだろう。計画〈Project〉は止まらない——。

### story

9.11以降、テロの脅威にさらされ続けた先進諸国は、その恐怖に対抗するべく徹底的な情報管理システムを構築していた。一方、後進諸国では内戦や大規模虐殺が急激に増加し世界は大きく二分されつつあった。

世界の紛争地域で暗闘するアメリカ情報軍特殊捜索群i分遣隊クラヴィス・シェパード大尉に謎のアメリカ人の追跡ミッションが下った。その男の名はジョン・ポール。紛争の予兆と共に現れ、紛争の激化とともに姿を消す“虐殺の王”を追うクラヴィス達の前に“地獄”が姿を現し始める——。

2017.2.3 (金) ロードショー

<http://project-itoh.com>